

赤ちゃんが大好きな絵本の紹介



『いないいないばあ』

松谷みよ子/文 瀬川康男/絵 童心社 1967
赤ちゃんが大好きな「いないいないばあ」遊びが楽しめます。



『ごぶごぶごぼごぼ』

駒形克己/さく 福音館書店 1999
カラフルな丸い形と、音だけの絵本。穴に指を入れて遊ぶこともできます。



『だるまさんが』

かがくいひろし/さく ブロンズ新社 2008
だるまさんのユニークな顔と動きが楽しい絵本です。



『びよーん』

まつおかたつひで/作・絵 ポプラ社 2000
いろいろな生き物が「びよーん」と勢いよくジャンプします。

参考「赤ちゃん向け絵本ガイド」広島県立図書館/編集 広島県読書推進運動協議会

～ おすすめの絵本の特徴 ～

- 子供の好きなものがのっている
- 身近な動物や植物が登場する
- 生活の中のことがにらんでいる
- ことばや音のくり返しがある



どこにいるのかな？

あーいた!!

- 布絵本 ● しかけ絵本
- お風呂絵本 ……

さまざまなタイプの絵本があります。

文部科学省HP『子ども読書の情報館 絵本で子育てを楽しく』より

「おひざにだっこ」してあたたかみあふれる手作り絵本で遊んでみましょう

読み聞かせによる3つの育み

ゆたかな「こころ」

赤ちゃんは、お父さん、お母さんや家族のあたたかな声の響きや肌のぬくもりが大好きです。安心できる声で語りかけてもらうことで、愛情を感じ、人との関わり方や、相手を思いやる気持ち、社会性を育てていきます。



やさしい「ことば」

心地よい声の響きやリズムを楽しみながら、たくさん「ことば」を吸収し、想像力を豊かにしていきます。

「まなぶちから」

身近な人とのふれあいの中で、言葉を学び、聞く力や、表現する力を育てていきます。同時に、いろいろなことへ興味・関心を持つようになります。

学習を振り返りましょう

自分の中で、なるほどと感じたこと、これからやってみたいと思うことなど、心に残っていることについて、振り返ってみましょう。

お問合せ：〒730-0052 広島市中区千田町三丁目7-47 広島県立生涯学習センター
TEL：082-248-8848 FAX：082-248-8840 E-mail：sgcshinkou@pref.hiroshima.lg.jp

教材番号

28

年 月 日 ()



寄って 話して 自ら気づく

「親の力」をまなびあう学習プログラム

おひざにだっこでおはなししましょう

～絵本をひらいてみませんか？～



イラスト：うじな かずひこ

赤ちゃんの「からだ」の成長にミルクが必要なのに同じように、「こころ」を育てためには、肌のぬくもりを感じながら、大人からのあたたかな語りかけや、豊かなふれあいの時間を持つことがとても大切です。赤ちゃんは、お父さんやお母さんや家族の声が大好きです。

おひざにだっこで、絵本をひらいてみませんか？

広島県教育委員会

赤ちゃんに絵本はまだ早いと思いませんか？ 赤ちゃんが絵本と出会うと・・・



いっしょに見るのが楽しいね



新しいことに出会ったり



安心して寝ちゃったり



ワンワン！



まねをしてみたり

あたたかいふれあいを感じる豊かなひとときが生まれます。

やってみましょう

- 一緒に絵本を楽しんでみましょう。
 - ・まずは、絵本の読み聞かせをおとなと一緒に楽しみましょう。
 - ・参加しているお子さんたちに絵本を読んであげましょう。
- 感想を交流しましょう。

いろいろな絵本に出会ってみましょう

図書館や子育て支援センターなどでも、絵本と出会うことができます。



赤ちゃん向けの「おはなし会」や「わらべうたの会」などさまざまなイベントが開催されています。



絵本を通じて子育て中の親子やボランティアの人たちと交流する機会にもなります。

図書館では、無料で絵本を借りることができます。赤ちゃんや子供向けのコーナーがあるところもあります。



うたをきかせてあげましょう

わらべうたもお子さんと一緒に楽しんでみましょう。

いっぽんばし こちょこちょ

- ① いっぽんばし (丁のひらをさす)
- ② こちょこちょ (手のひらをぐくぐく)
- ③ たたいて (手のひらをたたく)
- ④ つねって (手のひらをつねる)
- ⑤ がいだんのまっ (手首からひしへ指で響っていく)
- ⑥ こちょこちょこちょー (わきの下をぐくぐく)



県民の皆さんの声 (広島県教育モニターアンケート等より)

- ◆ 子供の手が届く場所に本を置いてあります。自然と興味を持つ本を手にとって読むようになりました。
- ◆ 上の子には寝る前に読み聞かせをしていました。中学生になりましたが、本がとても好きで、下の子に読み聞かせをしてくれています。
- ◆ 同じ本を何回も持ってきますが、たぶん、それが好きなので、その本を読むようにしています。
- ◆ パパがお休みの日は、パパに本を読んでもらうようにしています。

